

# 特別会計 昭和55年度の総予算

水道事業の経営面では、事業収益を六億八千四百八十一万円と組み、前年度に比べ七・八・四％増と見込んでいますが、本年度末では大幅な増収を見込んでいます。これは、累積赤字金が見込まれ、まだまだ昭和五十四年度末約二億



## 水道会計

一千万円の解消をめざし、経営の健全化を図るために、やむを得ず実施する水道料金・諸手数料の改定によるものです。

## 特別三会計 二億四千八百八十二万円

市民の福祉と健康を守り、心のふれあう施策の推進



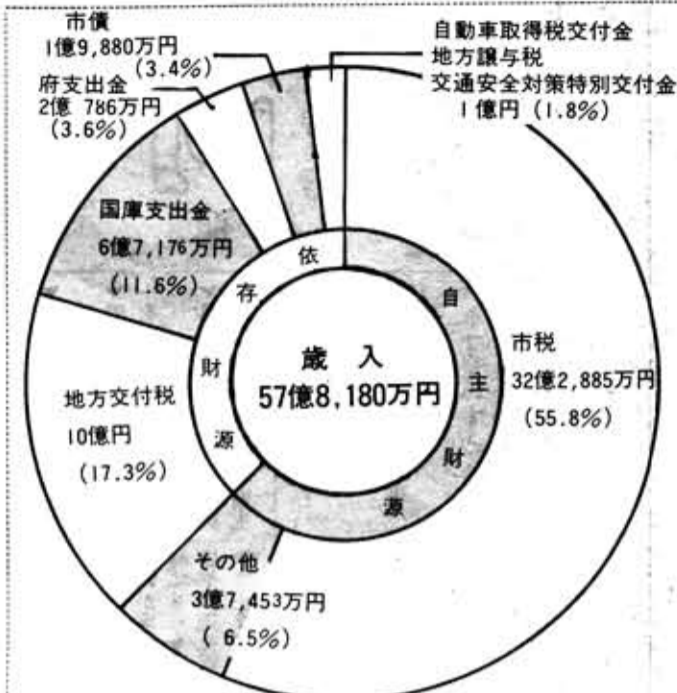
- ◇老人福祉センターの運営管理 3,274万円
- ◇70歳以上のお年寄りに敬老記念品 203万円
- ◇ねたきり老人家庭に火災警報器設置 13万円
- ◇ねたきり老人・独居老人に家庭奉仕員（ホームヘルパー）を派遣 554万円
- ◆ねたきり老人、独居老人の寝具乾燥を委託 34万円
- ◇独居老人障害者に福祉電話を設置 77万円
- ◇老人クラブなどに補助 221万円
- ◇敬老の日記念行事を開催 86万円
- ◇70歳以上のお年寄りに市独自の年金を支給 420万円



- ◆身体障害者家庭に特殊火災警報器を設置 7万円
- ◇障害者（3級以上）の方に障害者手当を支給 扶養共済掛金の一部を補助 296万円
- ◆福祉保健医療扶助制度を市独自に支給範囲を拡大 1,134万円
- ◇身体障害者にホームヘルパーを派遣 204万円



- ◇準要保護世帯などに見舞金を支給 207万円
- ◇要保護世帯に付添看護料差額を補助 10万円
- ◆母子世帯に水道料・くみとり料基本料を扶助 113万円
- ◆交通遺児に奨学金を支給 21万円
- ◇遺族金慰安会の開催 66万円



## 清潔で明るい市民本

- ◇勤労者に住宅資金の融資と一部利子補助 3,671万円
- ◆市民福祉講座の開催（ボランティアの育成） 30万円
- ◇無認可保育所および入所者に補助 696万円
- ◇多子・母子・障害児世帯に補助 720万円
- ◇昼間里親に委託金を支給 594万円
- ◇保育所の運営管理・保育内容の充実 5億5,503万円
- ◇民間保育園に援助 656万円
- ◇民間保育園への措置児の保育委託 2,307万円
- ◇予防接種の無料化と検診の充実（麻疹の無料実施） 1,688万円
- ◇成人病対策の充実・歯のつくり推進協議会の設置が
- ◇母親教室・乳児健診・1歳相談などの実施と充実
- ◆教育と文化のかままちづくり
- ◆第6向陽小学校にプール
- ◆第6向陽小学校開校に伴うことば・きこえの教室開設
- ◇各小学校施設の整備
- ◇教材備品の充実
- ◇修学旅行・遠足に補助
- ◇私立幼稚園設備などに補助
- ◇私立幼稚園児教材費補助
- ◆新1年生を対象に心臓病検診実施 84万円



国民健康保険事業では、前年度に比べ一・一％増の八億三千二百四十万円を組みました。予算総額の九四％を占める保険給付費は、医療技術の高度化、老人医療



## 国保会計

無料化や高額療養費の給付面の改善などにより、年々一〇％前後増加し、国保財政を圧迫しています。

下水道事業では、前年度に比べ八・三％増の六億四千六百九十五万円（四ノ坪・石田の一部地域）の供用開始に引続き、本年五月には、森本町下



## 下水道会計

を投資的経費として普通建設事業費にあてています。内訳としては、補助対象事業費二億二千七百四十万円、単独事業費七千五百四十万円、桂川流域下水道加担事業費として一億五千万円となっています。

<p>農林水産業費 1,459円 (4,894円)</p>	<p>労働費 915円 (3,070円)</p>	<p>衛生費 17,193円 (57,681円)</p>	<p>民生費 25,714円 (86,268円)</p>	<p>総務費 16,851円 (56,535円)</p>	<p>議会費 2,582円 (8,895円)</p>
<p>諸支出金・予備費 184円 (618円)</p>	<p>公債費 10,873円 (36,477円)</p>	<p>教育費 16,337円 (54,810円)</p>	<p>消防費 5,438円 (18,243円)</p>	<p>土木費 16,418円 (55,075円)</p>	<p>商工費 1,097円 (3,679円)</p>